

第45回村山地区高等学校PTA研修会報告

櫻鳴PTA副会長 岡崎 明

平成28年9月24日、山形国際交流プラザに216名のPTA会員が集い、「村山地区高等学校PTAがその活動を報告し意見を交換し合い、交流を深める。その成果を実践活動に反映させることで子どもたちの健全育成をめざす。」を目的に、第45回村山地区高等学校PTA研修会が開催されました。当校は、研修会事務局として、先生方及びPTA役員34名で参加し運営に当たり、星川嚶鳴PTA会長は実行委員長の大役を担いました。

研究発表として、山形中央高等学校PTA会長木村光一さんより「家庭におけるキャリア教育」をテーマとした発表がありました。次に寒河江工業高等学校PTA会長日塔広幸さんより「本校PTAの現状と活動について」と題した発表がありました。両校とも学校の特徴を出した発表であり、山形中央高校の保護者、生徒へのアンケート調査は貴重なデータとなることでしょう。今回のPTA研修会では、各学校が各学校らしさを出してPTA活動を考え実行して行くことが大事だと、改めて強く感じました。

基調講演では、元山形大学長 仙道富士郎先生から「いま我が国の教育を考える～グローバルな大変動時代の中で人を育てることの意味について～」という演題でお話をいただきました。先生の歩んできた体験の中から、様々な教育の在り方を教えられた講演でした。

前日までは不順な天候でしたが、当日はさわやかな秋晴れとなり、心身とも有意義な時間を過ごすことができました。

